

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】
〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-550-0747 FAX.042-550-0059

Rotary
第2580地区



ロータリーの
マジック

東京秋川ロータリークラブ
2024-25年度 15号

2024年10月31日
第2393回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	43	23	18	2	56.10%

本日のテーマ

夜間例会・卓話

次回以降のプログラム

11月 6日(水)7日(木) 親睦旅行
11月 14日(木) ガバナー公式訪問・夜間例会
11月 21日(木) 通常例会

第2392回の出席率訂正 会員43名 出席23名 メークアップ9名 欠席9名 免除2名 訂正出席率 78.05%

会長方針

絆と喜び；仲間と笑顔で奉仕を

本日のお客様

- ・ガバナー補佐 比留間 孝司 様 東京武蔵村山ロータリークラブ
- ・分区幹事 佐藤 貢 様 東京武蔵村山ロータリークラブ



佐藤 貢 様

会長報告 平宮 力夫 会長

あきる野市教育委員会からのお知らせです。「中学生主張大会」が12月7日(土)に予定されています。ただ、この日は例年通り「ふれあいクリスマス会」と重なってしまうため、ロータリーの方から一名が出席する形で調整をお願いしたいと思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

東村山ロータリークラブからのご案内です。「多摩湖サイクリングエボリューション」が11月16日(土)に西武園競輪場で開催されます。参加をご希望される方は、お手数ですが事務局までご連絡いただけますと助かります。

先日10月25日(金)にバーディークラブで開催された「多摩分区親睦ゴルフコンペ」の結果について報告いたします。団体戦の優勝は福生RCチームで、秋川は最下位でした。

11月14日(木)の例会についてお知らせいたします。この日は東京福生ロータリークラブの石川彌八郎ガバナーが公式訪問されます。例会前の17時から「黒茶屋」にてクラブ協議会が開催される予定です。なお、送迎バスもご用意しておりますので、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

副幹事である竹内氏の退会についてお伝えいたします。彼はこれまで10年間にわたり活動を続けてこられました。先日の24日(木)の例会後の理事会において退会届が受理されました。後任には選考委員会での承認も得られており、次回の総会で正式に皆様へご報告する運びとなっております。

幹事報告 佐藤 慶 幹事

出席奨励についてですが、本日の出席率は50.22%とのことでした。一部の方は地区の活動などで欠席されておりますが、今後修正される見込みです。現状、60~70%台を維持できておりますので、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。また、クラブの拡大についても一層の取り組みが必要な時期となっております。この点についても話し合いを進めてまいりますので、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

次に、東京武蔵野ロータリークラブからの報告です。元ガバナーである櫻井 権司 様が9月27日にご逝去されました。哀悼の意を表するとともに、会員の皆様に改めてご報告させていただきます。

幹事報告 佐藤 慶 幹事

また、例会の変更についてお知らせします。

東京青梅ロータリークラブより、以下のスケジュールが通知されております。

- 11月5日(火):通常例会(東京武蔵野中央ロータリーとの合同例会)
- 11月19日(火):夕方の例会
- 11月26日(火):夜間例会(18:30~)

当RCは11月14日(木)にはガバナー公式訪問の夜間例会が予定されております。一部の方から欠席の返答をいただいておりますが、まだ調整可能な方はぜひご出席をご検討いただければ幸いです。

東京東村山RC開催の「多摩湖サイクリングエポリューション」についてご案内です。こちらは11月19日(火)に西武園にて開催されます。ご参加可能な方はぜひご協力いただきたく、事務局までお声がけください。

「クラブ概況」の冊子が完成いたしました。印刷の遅れなどがあり本日のお渡しとなりましたが、これまでの活動が詰まったものです。ぜひご覧いただき、クラブ活動の振り返りや今後の参考にいただければと思います。

委員会報告

親睦委員会より

以前からご案内しておりました親睦旅行についてです。11月6日(水)から7日(木)にかけて、熱海方面への旅行が予定されております。最終的な参加者数は17名となりました。ご参加いただく皆様、ありがとうございます。

また、昨日、委員長から参加者の皆様にメールが送られているとのこと。その内容にも記載があったかと思いますが、親睦旅行費の振り込みについてお願いがございます。11月1日(金)までに振り込みを完了していただけますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、今回、バスを利用されない方が3名いらっしゃいます。この件については、まだ柳委員長と詳細を相談しておりませんが、バスを利用されない場合の費用については、メールに記載の金額と同額とするのが難しい場合もございます。その点については、旅行当日に最終的な調整をさせていただければと考えています。どうぞご理解ください。

高橋 和弘 新幹事よりご挨拶

鶴田会長の時に齊藤さんが拡大活動をしていた時期で、私はそこから関わらせていただきました。多くの先輩方に助けられて、ここまで活動を続けてこられたことを感謝しています。紹介者は鶴田さんで、その後、私は正しい形で活動をしてきたつもりです。今回は幹事の役割をいただき、次年度の山下会長の下で、本気で会長をサポートしていきたいと思っています。準備期間はまだ間に合うと思っていますので、総会後から本格的に頑張りたいと思います。皆様のご協力なしでは成し得ないことだと感じているので、ぜひともご協力をお願い申し上げます。短い期間ではありますが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



— SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **43,100円**

- ・多摩分区 ガバナー補佐 比留間 孝司 様、分区幹事 佐藤 貢 様 ガバナー訪問前の訪問になります。本日はよろしくお願ひ致します。
- ・平宮 力夫 会長 ガバナー補佐、分区幹事、本日はよろしくお願ひ致します。
- ・佐藤 慶 君 比留間様、佐藤様本日はおいで下さいましてありがとうございます。
- ・松村 博文 君 比留間様、佐藤様本日はおいで下さいましてありがとうございます。

— 卓話 — 比留間 孝司 様

本日はお集まりいただき、ありがとうございます。まず、皆さんにお知らせしたいのは、いよいよ2週間後に、第2580地区ガバナーの石川 彌八郎ガバナーが訪問されるということです。今年度の訪問は、クラブの皆さんにとっても非常に重要なイベントであり、私たちの活動にとっても大きな意味を持っています。この訪問を迎えるにあたって、すでに公式ホームのスケジュール確認書を頂いていることと思います。準備が着々と進んでいることを嬉しく思いますし、訪問に向けて協力していただいている皆様に感謝申し上げます。

さて、私が担っているガバナー補佐という役割について簡単にお話しします。ガバナー補佐は、その名の通り、ガバナーをサポートする役割であり、ガバナーが選任するメンバーとして、クラブとの間をつなぐ事務的な役割を果たします。私たちの主な任務は、クラブとガバナーとの連絡をスムーズに行うことですが、実際には責任はあっても、権限があるわけではありません。そのため、今日お話しする内容も、ガバナー訪問の前触れとしての簡単な挨拶に過ぎないと思っていただければと思います。

それでも、せっかくこのような機会をいただきましたので、今年度どのような思いで活動を進めているのか、少しお話をさせていただきたいと思います。まず、先程述べたように、今年度は「分区連絡会」などのイベントがあり、その最初の一回をこの秋川IRCがホストして開催しました。今年度は少し異なるアプローチを取る部分がありましたが、結果的には非常に有意義な会議となり、参加者全員の協力のもとで進められました。私たちのクラブが積極的に関わることができたのは、平宮会長や佐藤慶幹事のリーダーシップがあったからこそだと感じています。そして、こういった活動が実を結び、ここまで順調に進んできたことに感謝の意を表したいと思います。

また、先日行われたゴルフのイベントも含め、様々な活動を通じて着実に進展を感じており、その結果として、クラブとしても充実した前半の4ヶ月を過ごせたと感じています。これからも多くのイベントや訪問が控えており、クラブ全体が一丸となってさらに盛り上げていきたいと思っています。

次に、石川ガバナーは東京福生ロータリークラブに所属されており、私たち多摩分区では18年ぶりの訪問となります。このように長い期間を経ての訪問ということで、より一層の重要性が感じられます。他の地区はすでに訪問が済んでおり、私たち多摩地区は最後となるわけです。そのため、この訪問はクラブの皆さんにとっても特別な意味を持つものだと感じています。ガバナー訪問は通常7月から9月に集中することが多いのですが、今年度は11月から12月という忙しい時期に訪問されることとなり、そのことに対しても感謝と敬意を表したいと思います。

今回の訪問に際して、特に注目すべきは、地域のクラブ間での意見交換の重要性です。多摩分区クラブをはじめ、他のクラブとの繋がりを深めることができる貴重な機会です。これまでの経験から、クラブ同士の連携や意見交換は大きな価値を持ち、私たちの活動にとっても良い刺激となることが多いです。例えば、分区連絡会やガバナー訪問の際に、他クラブとの交流を通じて新しいアイデアや視点を獲得することができるのです。

今年度、私は「ガバナーの排出年度」として、多摩分区クラブの伝統を大切にしつつ、地区全体やロータリー全体の流れにも目を向けています。その中で重要だと思うのは、クラブがどのように地域貢献を行い、またそれをどう持続可能な形で発展させるかということです。これからのロータリー活動には、複数年の視点を取り入れ、より大きなインパクトを持つ活動を目指すべきだと感じています。現在は一過性のプロジェクトだけでなく、長期的な視点で奉仕活動を進める必要があると思います。

また、ロータリーの活動における「奉仕」のあり方にも注目しています。奉仕活動はただ行うのではなく、その動機や目的が重要です。今後は、「どれだけインパクトがあるか」「会員参加をどれだけ促進できるか」「参加者の基盤をどれだけ広げられるか」「変化にどれだけ適応できるか」といった要素を重視していくことが求められると感じています。こうした視点を持つことで、ロータリー活動がさらに充実し、多くの人々に影響を与えることができると思います。

最後に、クラブ内での協力と連携が、今後ますます重要になると感じています。一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たし、問題意識を持って活動を進めていくことが、クラブの強みを最大限に生かす鍵となります。今後も積極的に意見交換を行い、各自が自分のクラブやロータリー活動にどのように貢献できるかを考えることが大切だと思います。

このように、今年度の活動は多くの挑戦と機会があり、私自身も非常に充実した時間を過ごしています。これからのロータリー活動に向けて、さらなる努力を重ねていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



◆編集 週報委員会 担当 新井 悠央